

国立天文台周辺地域土地利用基本構想策定に向けた基本的な考え方（案）に関する主なご意見及び回答
【一般市民向け説明会】令和5年11月23日

※質問の趣旨を踏まえ、当日の回答から回答の骨子を再編集しています。

No	質問・意見の骨子	類似意見	回答の骨子
(1) おおさわコモンズに関すること			
1	大沢の里に小学生が見学を訪れるが、大型バス2台で来て、狭い道に停めている状況である。大型バスも駐車できるような場所がほしい。		天文台北側ゾーンに検討中の東西通路で対応を考えていきます。
2	小学校移転とスーパー誘致が前提との印象を受けた。少子高齢化の中で、学校の整備では、恩恵を受ける方が限られているのではないか。高齢者に関わる施設はどうか。西部は病院も少ない。緩和ケアや医療施設（リハビリ）の検討はしないのか。市の皆さんが恩恵を受けられるような施設を考えてはどうか。		学校自体を子どもたちだけでなく、市民の皆さんが日常的に集える施設とする検討を進めています。
3	おおさわコモンズに図書館が入り、市民が集まる場所になることで、いろいろな方が出入りできる面で子どもたちのセキュリティや夜の暗さが心配。安全とセキュリティは具体的に考えてほしい。		施設計画を検討する際にはセキュリティには十分配慮します。
(2) 新学校に関すること			
1	羽沢小も大沢台小も近い将来1学年1クラスとなるとのことであるが、どちらかに合併でいいのではないか。新学校にする必要性はあるのか。		仮に合併となると、浸水予想区域内の羽沢小ではなく、大沢台小への統合になる可能性がありますが、現地建て替えでは建物配置や建設中の教育活動の制約も出てきます。そこで、高台の新しい場所に移転をし、新しい未来の学校を創りたいと考えています。
2	天文台敷地は夜になると地域から隔絶された土地である。地域の中で見守りの目がある今の位置のままがよい。		学校を地域の共有地コモンズとして整備することにより、日常的に市民の方が訪れ、見守りができるものと考えます。
3	（教育長が羽沢小から七中まで歩いたときに）40分かかったと聞いて驚いた。交通手段等はどのように考えるのか。		スクールバスなどの検討とともに、時間を掛けないで到達できるよう通学路も検討します。
4	9年間の学校については、同じメンバー、同じ先生になることで、子どもは自分でコミュニティを選べないので、合わないコミュニティだったら心配だ。		9年間の一貫教育については、学校単位で見れば人間関係が固定化するなどの面もありますが、人間関係に配慮したクラス替えができる学年規模になること、多くの教職員のかかわりができる規模になることのメリットを生かし、より丁寧に寄り添える対応を図ります。また、大沢台小跡地を活用した新たな不登校等の学校づくりも検討します。
5	防犯についてだが、天文台の中は夕方、夜間は暗い。天文台の周りも人通りが少なく危険である。		天文台の中に防犯に配慮した東西通路を考えています。歩道分離の安全な道路を検討します。
6	おおさわ学園を日本一の学校にとの話があったが、三鷹市の教育はどこでも同じように受けられるようにすべきと思う。この新学校の位置付けはどのように考えられているのか。		新学校でバリアフリーやインクルーシブ教育、一人ひとりに寄り添った教育など、新しい教育にチャレンジし、ここで得られたものを順次ほかの学園にも展開していきたいと考えています。
7	学区は三鷹の中でも大きくなるのではいか。この地域のみ不利益とならないか。学区は大きくなるという理解でいいのか。他の学区も統廃合など進めていくのか。		今のおおさわ学園の学区の範囲は変わりません。一つの新しい学校を創りたいと考えています。
8	新しい教育を考えているとのこと、先生の負担も大きくなると思われるが、先生は増えるのか。		教員数については、基本的には小学校1校分、中学校1校分の教員配置となります。小・中両方の指導ができるので、小学校高学年で教科担任制を取り入れれば、教師の授業時間の持ち分などは調整できます。
9	学校ごとに（スポーツの）チームがあるが、学校が一つになった場合、その練習場所等の調整はどうするのか。市民にお任せではなく、きちんと検討してほしい。		地域のスポーツクラブの活動の場が少ないことは課題と認識していますので、しっかりと検討していきます。
10	第七中の先生が痴漢対策で女子生徒に付き添って帰っている。通学路の危険性は低学年だけの問題ではない。		周辺の安全対策を含めたまちづくりを検討していきます。
11	教科担任制については短期間で破綻した例もある。		義務教育学校の制度を活用した学校の在り方の中で検討していきます。
(3) 緑の保全に関すること			
1	天文台は公園として整備し、市民開放すべきだ。		市の公園については、借地公園の買収などを計画的に進めているところです。天文台敷地を公園化する予定はありません。
(4) 防災に関すること			
1	羽沢小が危険なのは地域住民も知っていることである。避難所のために小学校を移転するのはおかしい。小学校は避難所としての場ではない。災害時は天気予報などで事前に知ることができ、大雨ならば学校は休校になる。学校が危険ということはないはずだ。	他2件	予測できる台風などは事前に休校も想定されますが、近年はゲリラ豪雨など予測困難なものもあります。その場合は安全な学校に待機できるようにしたいと考えています。そのために、浸水予想区域内にある羽沢小学校を高台移転したい考えです。
2	この位置に学校は必要と考える。学校施設の浸水対策ガイドラインでは止水板等の設置とある。浸水対策への議論はなされたのか。	他1件	学校施設の浸水対策ガイドラインについては承知してありますが、これは対症療法的な対応ですので、究極的には高台移転が最適と考えます。
3	北側ゾーンの活用の話がなくても今回の羽沢小の移転の話はあったのか。信念があるとすれば、天文台からの話がなくても、土地を調達し、移転をすべきだったのではないか。		羽沢小については、市内の学校で唯一浸水予想区域内にあるということで、移転をしたいと考えていましたが、これまで適切な用地がありませんでした。天文台から北側ゾーン活用の話があったことで、天文台と市の課題解決を図りたいと考えたところです。
4	浸水は津波とは違う。学校は地域にあるべきだ。移転じゃないところからはじめてほしい。		天文台とともに、地域の課題解決に取り組んでいきたいと考えています。計画の初期である今の段階から市民の方々に情報提供して意見をお聴きし、まちづくりを進めていきたい考えです。
5	災害時の具体的な対策がなされていない。今回の考え方（案）にはコミセンの話がない。（お住まいの町会）高齢者が多く、大沢台小、第七中への避難は正直厳しい。浸水区域の災害対策はどのようになっているのか。		早めの避難行動を呼びかけています。また、味の素スタジアムやコーナンなどと協定を締結し、車での避難を含めた対応や、SNSなど多様な情報伝達手段をとっているところです。
6	長谷川病院の建て替えの話も聴いている。階段やエレベーターなど避難に資する設備の要望を出してほしい。		長谷川病院への協力の要請を検討します。
7	みんなの防災という組織が立ち上がり、そこでは、全国の先進事例の調査をしているようなので、この調査結果等も参考にしてほしい。		ご意見として承りました。
(5) 羽沢小・大沢台小跡地利用に関すること			
1	スーパーはこの周辺にないと分かっていて住んでいる。定住人口を増やす努力はしないのか。		スーパー誘致については、住民の方からも誘致してほしいとの声をいただいています。
2	羽沢小跡地へのスーパーの誘致について、浸水予想区域にスーパーが進出する可能性は低いと思うが、どう考えているか。		検討段階ですので、具体的には決まっていますが、地域の方々の生活利便性の向上についての要望に応えていきたいと考えています。

No	質問・意見の骨子	類似意見	回答の骨子
(6) その他のご意見			
1	具体的に今後の予定を示していただきたい。この先何をどのように進めていくのか。	他1件	まだ具体的なスケジュールはお示しできませんが、10年はかからないようにしたいと考えています。基本構想→整備計画→設計（基本設計・実施設計）→整備の順番で進めていくことになります。
2	これから小中学校に通わせる親世代は説明会に来づらいので、託児付きの説明会など、親世代も来やすいようにしてほしい。 (小中学校を)卒業して何年も経ていけば時代も変わっているので、高校生や大学生など、卒業間もない若い世代の意見も聴けるとよいと思う。	他1件	託児付きの説明会も検討します。 どういう形で若い世代の方のご意見を把握するのかについてもしっかり検討していきます。
3	北側ゾーン活用の話が天文台から市にあった時点で、市は(国立天文台が予算を削減されたことに対して)国に意見をすべきだったのではないか。		この話があったときに、市としては、天文台と一緒にお互いの課題を解決したいと考えたところから検討を始めました。
4	不登校児童は増えている。現場の先生方も疲弊している。教育部の人たちはまずは現場へ行くべきではないか。		ご意見として承りました。
5	情報を公開してほしい。 天文台から最初に話があった時点で市は広く意見を募るべきであったと考える。		これまで、市民向け説明会や学校関係者等に随時説明会を行っています。また、これまでの経過につきましては、市ホームページにて公開しています。
6	天文台の見学の機会がほしい。		検討します。
7	天文台から買収するか借りるのか未定とのことだが、そのような構えで大丈夫なのか。購入するにしても財源は大丈夫なのか。		財源について、現段階では事業費をお示しできませんが、ほかの予算とのバランスも考えて財源を確保していきます。
8	定期借地になった場合、どのくらいの期間借地するのか。		定期借地になった場合の借地期間についてはこれからの天文台との協議になります。
9	必要な敷地の面積は一般的に決まっているのではないか。どの程度敷地を使ってどの程度(緑地が)残るといふ見込みはあるのか。		北側ゾーン敷地全部を使うつもりはありませんが、範囲は未定です。余計な開発はしない一方で、現状は老木や枯れ木のある荒れた状態ですので、緑の管理をしっかりを行い、周辺の方々が入れやすいような整備をしたいと考えています。
10	天文台の先生は観測環境として暗闇で静寂を求めているのではないか。子どもたちの喧騒と共存しないと思う。歓迎しないのではないか。天文台の本音を知りたい。		天文台の先生方にも市が直接説明を行い、一定の理解を得ています。 天文台と隣接することでさらなる連携をし、天文台の先生に憧れを持ってほしいと思います。
11	市全体でも説明会を開いてほしい。		まちづくりの取り組みに関しては、地域特性を踏まえた検討が必要であることから、まずはその地域の皆様にしつかりご説明し、ご意見をお聴きすることが第一であると考えています。多くの市民の皆様にご覧いただく内容につきましては、引き続き、広報やホームページ等を活用して情報発信に努めるとともに、ご意見やご質問については常に受け付けています。